

令和4年度上大久保中学校だより

上中だより

第2号

令和4年5月2日(月)発行

学校教育目標

「温かい学校 感動あふれる学校」

さいたま市立上大久保中学校

〒338-0824 さいたま市桜区上大久保861-1 TEL855-3901

<http://kamiokubo-j@saitama-city.ed.jp>

「良い学校のバロメーター」

けんもつ ゆきひこ
校長 監物 幸彦

校庭の木々の新緑が、新学期の意気揚々とした生徒たちの気持ちを表すかのように、まぶしく光っています。緑の深まりとともに、生徒たちも力強く青々とした木々の葉へと成長していくことでしょう。

授業が始まり約3週間、各学年の授業の様子を見て回りました。まずは1年生。慣れない中学校生活でさぞかし緊張して、授業も静まり返っているのだらうと予想していたのですが、どのクラスも活気がある印象。物応じせず新しい先生とコミュニケーションをとり、活発に発言（私語？）している様子に頼もしさを感じました。2年生は、5クラスの担任が全員持ち上がりました。そのおかげか、どのクラスも安心して生活している様子で、落ち着いた態度で授業に望んでいました。中だるみの2年生という言葉も心配する必要はないかもしれません。3年生は、最高学年としての自覚を持ち、朝の登校状況も授業態度も立派な滑り出し。この緊張感が最後まで続くことを期待しています。7組は、3人の生徒に教員が3人と恵まれた環境の中、上級生が下級生をリードする姿も見られ、とても温かい雰囲気です。

各学年の学年目標ですが、1年生「Can Do! チーム青学年」2年生「自（みずから）」3年生「背中で語る青学年の三本のYA」7組「力強く さわやかに」ということで、各学年（学級）の色や意気込みが感じられる、素晴らしい目標だと思っています。それぞれの学年が、工夫を凝らした取り組みで、大きく成長してくれることを願っています。

ところで、長年教員をやっていて、私とその学校が良い学校かどうかを判断するバロメーターがいくつかあります。一つ目は「あいさつ」です。毎朝校門で、子どもたちとあいさつを交えていくと、声の大きさ、声の調子、そして、表情などから、体の健康だけではなく、心の健康も伝わってきます。あいさつはその日の心のバロメーターとも言えます。今はあいさつをよくする生徒とほとんど声を出さない生徒との差が大きいので、気持ちよく挨拶できる生徒が一人でも増えてほしいと思っています。

二つ目は「靴のかかと」です。私が好きな詩に右記の詩があります。総本山の永平寺入口には「脚下照顧」と書かれた札があるそうです。「足元を照らして顧みよ」という意味です。履物を揃えることで「自分の行いを振り返り、心に落ち着きとゆとりをもつ」ことができる、「心にゆとりができる」と、素直

はきものをそろえると 心もそろう 心がそろうと はきものがそろう
ぬぐどきにそろえておくと はくどきに心がみだれない
だれかがみだしておいたら だまってそろえておいてあげよう
そうすればきっと 世界中の人の心も そろうでしょう

～藤本幸邦（長野県円福寺住職）～

なものの考え方やよりよい判断ができ、他の人のことも気遣える」ようになる、ということです。本校は、いつもどの学年も昇降口の靴がきれいに揃っています。いつもまでも続けてほしい本校自慢のひとつです。

三つ目は、「掲示物」です。昔から教室の掲示物を見れば、そのクラスの状態がわかると言われます。教室や廊下に貼ってある掲示物の画鋏やテープが一か所はずれ、掲示物がゆがんだとします。でも、だれも気に留めません。そのうち掲示物は、端から破れ始めたり、ぴらぴら風になびきます。もう、この時点でOUTです。これに、気づかない。気づいても直さない。心が乱れているか、乱れ始めているのです。これは、ゴミにも同じことが言えます。教室や廊下にゴミがいつまでも落ちている学校は、何か心配な要素がある物です。本校においてになった際、「あいさつ」「靴のかかと」「掲示物（ゴミ）」に変化があったら、ぜひお知らせください。学校・保護者・地域が一体となって子供たちを見守り、「通わせて良かったと思える学校」「地域に輝く学校」を築いていきたいと思えます。